

ピッコロ通信

No.152

2019.7.2

〒204-0021 東京都清瀬市元町 2-18-10 1階
☎090-8304-1076 Fax042-444-4546
<https://www.piccolonet.org/>

7月7日、七夕の日ですね。
笹飾りはしますか？

何か願い事してみませんか？

あれこれ欲張ってたくさん書いたら、
一つは叶うかしら？

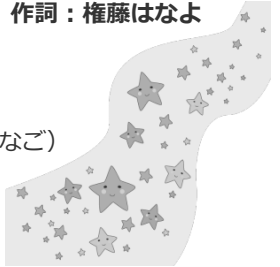


あいさつ

歌詞『たなばたさま』 作詞：権藤はなよ

ささの葉さらさら
のきばにゆれる
お星さまきらきら
きんぎん砂子（すなご）

五しきのたんざく
わたしがかいた
お星さまきらきら
空から見てる



NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

理事長 小俣 みどり

私たち NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロは、活動を開始して今年で 21 年目に入っています。
この間にさらに社会の環境は変化し、さまざまな制度や支援も新たにつくられてきています。

しかしながら、子育てをしている家庭の中には、誰の支援もねぎらいも評価もされないまま 24 時間、
孤立した孤独な子育てに追い込まれてしまっている現状もあります。そんな中、私たちのさまざまな事業
を通して

「支援を届けるためにどうすればよいのか？」

「どう応援すればよいのか？」

「既存の支援では支えられないのか？」

をもっともっとみんなで考えていく必要性を感じています。

そして、私たちピッコロだけではなく、行政、他機関、専門家、他団体と知恵を出し合い、真に連携、協
力していく必要があると思っています。

それには、まず一人一人の意識を変えて、個々が私たち団体がやるべき中期計画を理解し、NPO 法
人として活動していくことに力を合わせていきましょう。

「家族まるごと支援」の取り組みをスタートさせた私たちの思い、みなさんの温かい心を大切に、「困
ったときはすぐ手を差し伸べる」「預かる理由は問わない」の方針を決めた発足時の“志”をいつまでも
忘れずに引き継いでいきましょう。



支援者さんのお仲間が増えました!!

5/14~6/6 のファミサポの保育サービス講習会が終わり、ピッコロ支援者とし
て 6 名の方を迎えることができました。団体保育などでも、一緒になることができると
思います。報告書の記入の仕方など、教えていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



第16回定期総会報告

2019年6月8日(土)15:30よりアイレック会議室において第16回定期総会を開催しました。

会員数68名/出席総数59名(本人出席33名/委任状出席26名)で総会は成立しました。議事についてすべて異議無く承認されました。

〈質疑応答〉

・事業計画において一時預かりの市外研修会の有無や養育支援支援者の課題について研修会をする計画はあるかとの質問がありました。

→市外の方の利用が多くなり、市外の提供会員が必要と考えている。市外での研修会は今の体制では難しいため、他の方法を考えていきます。

養育支援については、子ども家庭支援センターとすでに打合せを終えており、調理に要する時間は2時間までとする、料理は家族4人分くらいを目安にするなど、今年度はその方法で行っていきます。



ご挨拶

女性労働協会はファミリー・サポート・センターの運営支援として関わらせていただいている。

今年は特に幼児教育無償化に伴い、ファミサポの事業も対象になることで、ヒアリングの協力などいただいている。この件は反響も大きく、ファミリー・サポート提供会員の保育の質は確保出来るのかという厳しい意見もある。保育の質とは何か、改めて考えさせられる時、ピッコロの姿勢・思いがとても参考になる。「預かる理由を問わない・困ったときにいつも手を差し伸べる」大切な信条があればぶれないと信じている。今後も応援している。



ご挨拶

清瀬市市長 渋谷金太郎 様

真実本物に向かって、わずかな一歩も、芽が出て実りある。偽物ではいけない、腐り始めるととめどない。清瀬に真実の愛が育っていると昨今、自信を持っている。清瀬賛歌4番の歌詞にもあるように、真心の大切さをあらためて感じている。

自身の子どもに対しても、取っ組み合っても真心を持って、今伝えなければと思ったことがある。悲しみもこみ上げたが、子どもたちは育つと信じて時間をかけて取り組む。教育は大事、全国を引っ張っていくつもりでいこうと意気込んでいる。



ご挨拶

清瀬市教育部長 石川智裕 様

4年間子育て支援に関わったが、改めてピッコロさんにはお世話になったと感じる。多くの事業で尽力いただき、NPO、体育協会ほか団体の多くの力があって、同胞として為し得ていく、共存関係と思っている。

支援の力はより一層強くしながら、ピッコロのスピード感をもって、その背中を見せながら他の団体もリードしてくれたらと思っている。



お忙しい中、たくさんのご来賓の方がご臨席くださいました。ありがとうございました。

市長 渋谷金太郎様

教育部 部長 石川智裕様

健康福祉部 部長 八巻浩孝様

健康福祉部 健康推進担当部長 矢ヶ崎直美様

子ども家庭部 部長 田村晶子様

企画部男女共同参画センター センター長 福田紀子様

子ども家庭部子ども家庭支援センター センター長 渡辺研二様

一般財団法人女性労働協会第一事業本部 部長 小林恭子様



HS産前産後支援ホームビジター養成講座を終えて

妊娠期からホームスタートにつながっていることで、産後を安心して迎えられることから、ピッコロでは産前の養成講座を行い、訪問していただいています。

6月10日は11名中8名の方が修了しました。残りの方は、7月に補講を受けます。ここ2年は妊娠中の方の利用や出産後すぐに利用される方が増えてきています。

今年度、ホームスタート・ジャパンが東京都の助成金を得て、学齢期の家庭へもホームスタートが訪問できるよう検証し、試行をしていく事業にピッコロが協力していきます。



たくさんのお会いに感謝して

支援者 今井徹子さん

3年前に清瀬市に引っ越してきて、一年経った時にファミサポの講習を受け、提供会員になりました。その後、ピッコロのホームビジター養成講座にも参加し、七十才を過ぎて、また学ぶことの楽しさを体験させていただきました。

たくさんのお会いの中で若いお母さんの一生懸命な子育てに触れる中で“お母さんって凄い”を痛感させられたり、子どもたちの個性を目の当たりにしたり、と楽しい嬉しい感動をたくさん体験させていただいた気がします。私と同じくらいの人たちが子どもたちの為に一生懸命頑張っている姿に触れることも出来、この三年間は残り少ない人生の中でも大きな心の励みになったと思います。

どうぞ子育てで悩んでいるお母さんたちの為にも、益々の心配りにご活躍をお祈りしております。——清瀬を去るに当たり一言寄稿させていただきました。



ホームビジターを利用して

利用者 H/K

2人目を妊娠中、つわりが辛くて、ホームビジターを利用しました。上の子の外遊びに付き合っていたいただき、助かりました。

赤ちゃんが生まれてからは、寝不足が続き、昼間外出するのもおっくうでした。2歳半になった上の子は、外に行きたい！と主張します。「私一人じゃ無理だよ！」

と絶望しかけたとき、ホームビジターさんがスッと助けてくれました。《公園でママとかくれんぼ》

最近、週に一度来て、一緒に公園に行ってくれます。車の多い道も、大人が2人いれば安心です。赤ちゃんをホームビジターさんに見てもらっている間、私は普段かまっていられない上の子と一緒に遊びます。よく遊んだ日は、ぐっすりお昼寝してくれるので、その間に私も一息つけます。

ホームビジターさんのおかげで、一日の生活リズムが作れるようになりました。いつも明るく接してくださって本当に感謝しています。これからもよろしく願いいたします。



ホームスタート・ピッコロ 10周年感謝祭 ベイビー・ブー コンサート

8/31(土) 10:30~11:45 終了予定 (受付 10時~)

清瀬市児童センターころぼっくるホール

ホームスタートは、2007年、福祉医療機構の複数年助成を得て、清瀬市で試行が始まり、2009年にその効果を認めていただき、日本で初めて行政の事業となりました。

今年で10年を迎えるにあたり、より多くの方にホームスタートを知っていただく機会としたいと思います。皆さんもご参加ください。

*詳細はチラシをご覧ください。

お持ちで無い方はお電話ください。



